

日本 CBRNE 学会・NBCR 対策推進機構共同主催シンポジウム —武力攻撃の緊急事態からの国民保護—

日本医師会、東京都医師会、全国消防長会、防衛技術協会 後援



【シンポジウム】

日 時: 2026 年 7 月 26 日 (日)

10:00~16:00 (9:30 受付)

場 所: 国立オリンピック記念青少年総合センター

(センター棟 401 号室)

最寄駅: 小田急線「参宮橋駅」より徒歩7分)

テーマ: 武力攻撃の緊急事態からの国民保護

参加費: 会場参加者; 会員 5,000 円、非会員 6,000 円 (昼食およびお茶付き)

REAL TIME WEB 及びオンデマンド配信参加; 会員 5,000 円、非会員 6,000 円

* CBRNE 災害危機管理者認定; 1 単位が付与されます。



日本 CBRNE 学会
理事長 石井正三



NBCR 対策推進機構
理事長 石原雅之

講 師 紹 介



濱口和久先生

(拓殖大学防災教育研究センター長、特任教授)「国民保護と危機管理体制」産経新聞正論新風賞受賞(2025)



小泉悠先生

(東京大学先端科学技術研究センター准教授)「ウクライナ戦争の現状と今後」産経新聞正論新風賞受賞(2024)



佐藤正久先生

(NBCR 対策推進機構会長、日本 CBRNE 学会顧問、前参議院議員)「現在の国際安全保障状況と今後の展望」



岩田清文先生

(国家基本問題研究所副理事長、元陸上幕僚長)「イラン戦争、ウクライナ戦争に学び、台湾・日本有事を抑止する」

シンポジウム趣旨

ウクライナ戦争、ガザ紛争、米国／イスラエルとイランの戦争など安全保障上の国際情勢も不安定さを増しており、その影響から東アジアでも台湾や朝鮮半島有事の危険性も増大し、日本も戦争に巻き込まれる可能性は大きく高まっています。有事・安全保障研究のエキスパートの著名な先生方を講師としてお招きし、有事紛争について内外の危機への対応体制の現状を振り返りつつ課題を指摘したうえで、日本も今のノー天気のままではよいのか今後への対応を展望してみたいと思います。

プログラム(発表構成 講演順やタイトル等は変更する場合があります。)

午前の部(10:00～11:55)

※ 開場 受付 9:30～

開会挨拶(10:00～10:10) 石井正三(日本 CBRNE 学会理事長)

講演 1(10:10～11:15) 濱口和久(拓殖大学防災教育研究センター長、特任教授)「国民保護と危機管理体制」

講演 2(11:20～12:25) 小泉悠(東京大学先端科学技術研究センター准教授)「ウクライナ戦争の現状と今後」

昼休み(12:30～13:30)

午後の部(13:30～16:00)

講演 3(13:30～14:35) 佐藤正久(NBCR 対策推進機構会長、前参議院議員)「現在の国際安全保障状況と今後の展望」

講演 4(14:40～15:45) 岩田清文(国家基本問題研究所副理事長、元陸上幕僚長)「イラン戦争、ウクライナ戦争に学び、台湾・日本有事を抑止する」

閉会挨拶(15:50～16:00) 石原雅之(NBCR 対策推進機構理事長)

日本 CBRNE 学会／NBCR 対策推進機構共催シンポジウムに参加される方は下記のいずれかの方法にてお申し込みをお願い致します。

(今回から新たにお申し込みシステムを導入しました。)

<https://nbcrcbrne.peatix.com/view>

- ① お申し込み＆決済システム(右記QRコードからのお申し込み)
クレジット払い、コンビニ払いも可能です。
- ② メール・FAX にて下記必要事項をお送りください。



氏名 _____

Email _____ 携帯電話 (_____) _____ - _____

<会員種別> 会員 ・ 非会員 (どちらかに○を下さい)

<シンポジウム> 会場参加 ・ WEB 参加 ・ オンデマンド参加
(どちらかに○を下さい)

※お申し込み後、事前のお振込みをいただく口座番号をお知らせいたします。

【お問い合わせ先】

事務局:NBCR 対策推進機構 東京都港区赤坂 4-9-25 新東洋赤坂ビル3階

担当:岡部・遠藤・木村・石原

TEL:03-5829-6187 FAX:03-5829-6197

HP : <https://nbcrcbrne.peatix.com> E-mail:info@nbcrcbrne.peatix.com